

# 火災概要白書

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

塩釜地区消防事務組合

## 【目次】

### 1 火災概要 ( 1 ～ 7 頁)

令和4年中に塩釜地区管内（塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町）で発生した全ての火災に関する概要

### 2 住宅火災概要 ( 8 ～ 15 頁)

令和4年中に塩釜地区管内で発生した住宅における火災に関する概要

### 3 電気火災概要 ( 16 ～ 17 頁)

令和4年中に塩釜地区管内で発生した火災のうち、「電気関係」を原因として発生した火災に関する概要

### 4 たばこ火災概要 ( 18 ～ 19 頁)

令和4年中に塩釜地区管内で発生した火災のうち、「たばこ」を原因として発生した火災に関する概要

### 5 放火・放火の疑い火災概要 ( 20 ～ 21 頁)

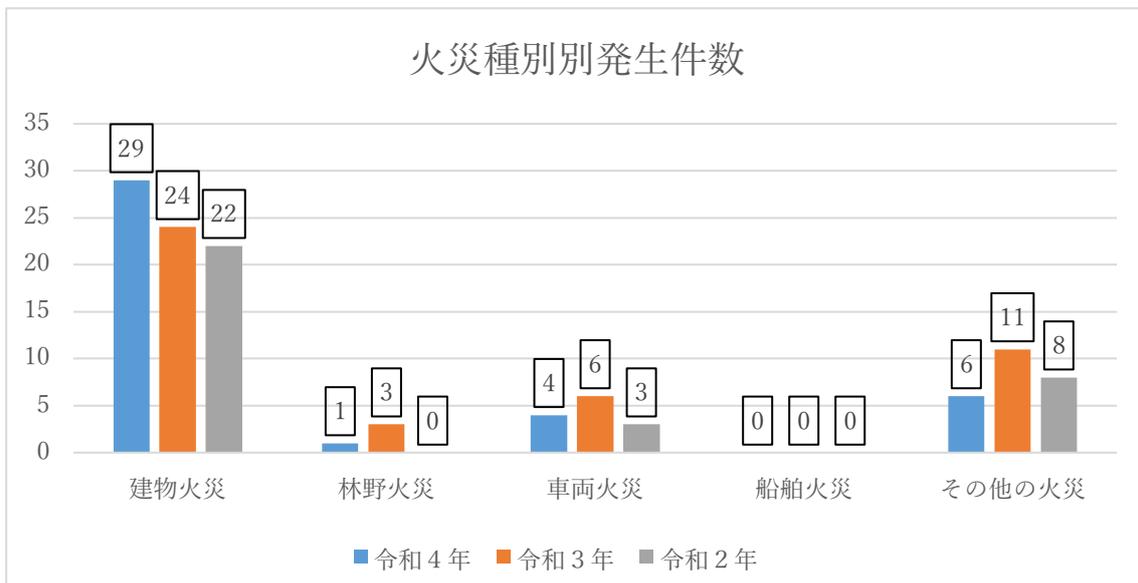
令和4年中に塩釜地区管内で発生した火災のうち、「放火・放火の疑い」を原因として発生した火災に関する概要

### 6 ストーブ火災概要 ( 22 ～ 23 頁)

令和4年中に塩釜地区管内で発生した火災のうち、「ストーブ」を原因として発生した火災に関する概要

## 【火災概要】

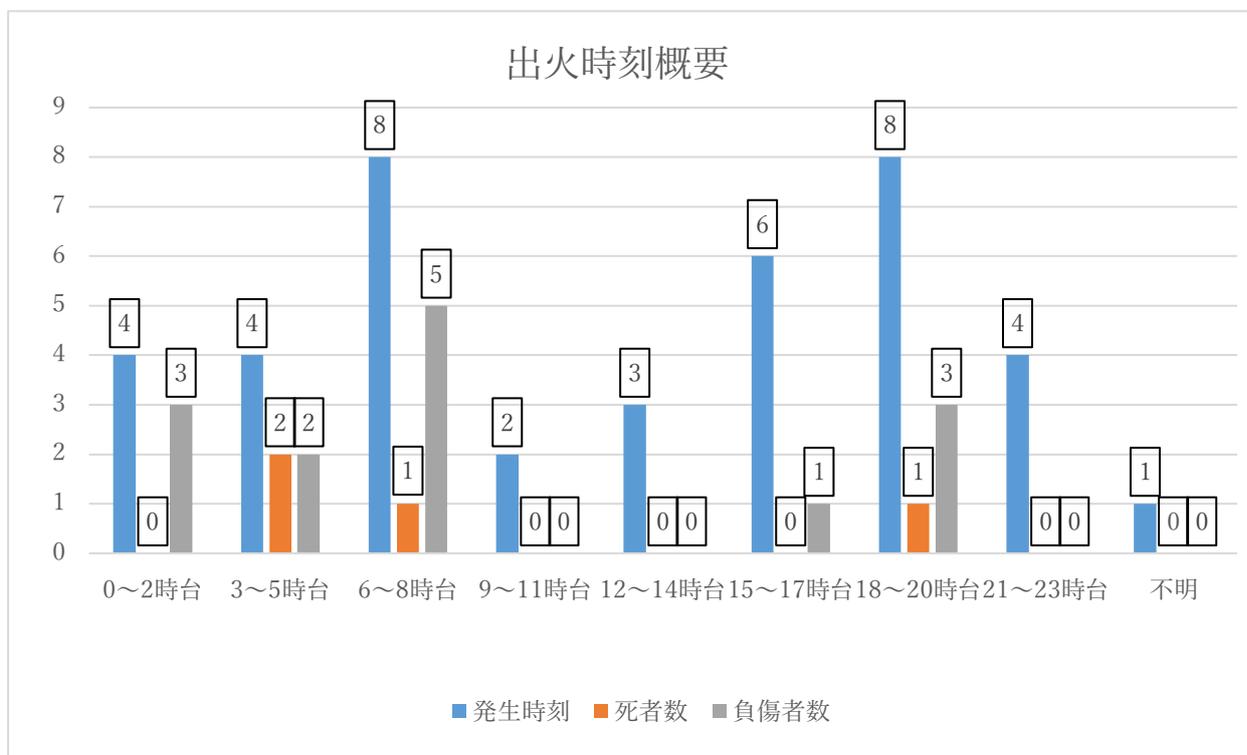
(1) 発生件数	40件	／	死者4名	／	負傷者14名
建物火災	29件	／	死者4名	／	負傷者13名
林野火災	1件	／	死者0名	／	負傷者0名
車両火災	4件	／	死者0名	／	負傷者0名
船舶火災	0件	／	死者0名	／	負傷者0名
その他の火災	6件	／	死者0名	／	負傷者1名



- 令和4年中に発生した火災の件数は、建物火災29件（72.5パーセント）、林野火災1件（2.5パーセント）、車両火災（10.0パーセント）、その他の火災（15.0パーセント）となった。
- 火災全体における建物火災の割合が令和3年（54.5パーセント）及び令和2年（66.7パーセント）より多くなった。

## (2) 発生時刻

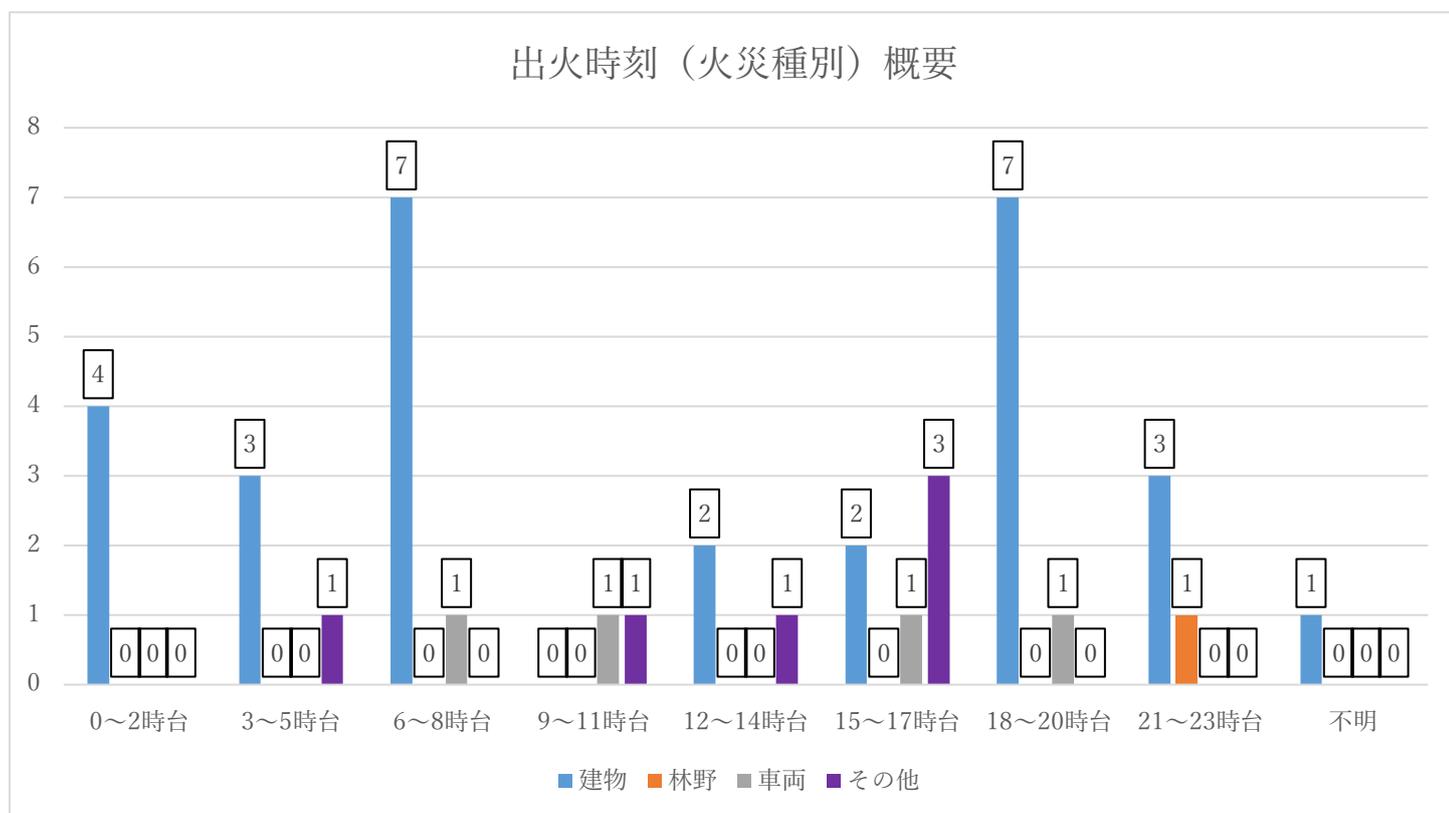
0～ 2時台	4件 (10.0パーセント)	死者0名	負傷者3名
3～ 5時台	4件 (10.0パーセント)	死者2名	負傷者2名
6～ 8時台	8件 (20.0パーセント)	死者1名	負傷者5名
9～11時台	2件 (5.0パーセント)	死者0名	負傷者0名
12～14時台	3件 (7.5パーセント)	死者0名	負傷者0名
15～17時台	6件 (15.0パーセント)	死者0名	負傷者1名
18～20時台	8件 (20.0パーセント)	死者1名	負傷者3名
21～23時台	4件 (10.0パーセント)	死者0名	負傷者0名
不明	1件 (2.5パーセント)	死者0名	負傷者0名



- ・ 火災発生時刻については、6～8時台、18～20時台にそれぞれ8件発生し、この時間帯のみで、全体の40.0パーセントを占めていた。
- ・ 死者及び負傷者は全体で18名発生し、そのうち0～8時台に13名（72.2パーセント）発生していた。

### (3) 火災種別ごとの発生日時

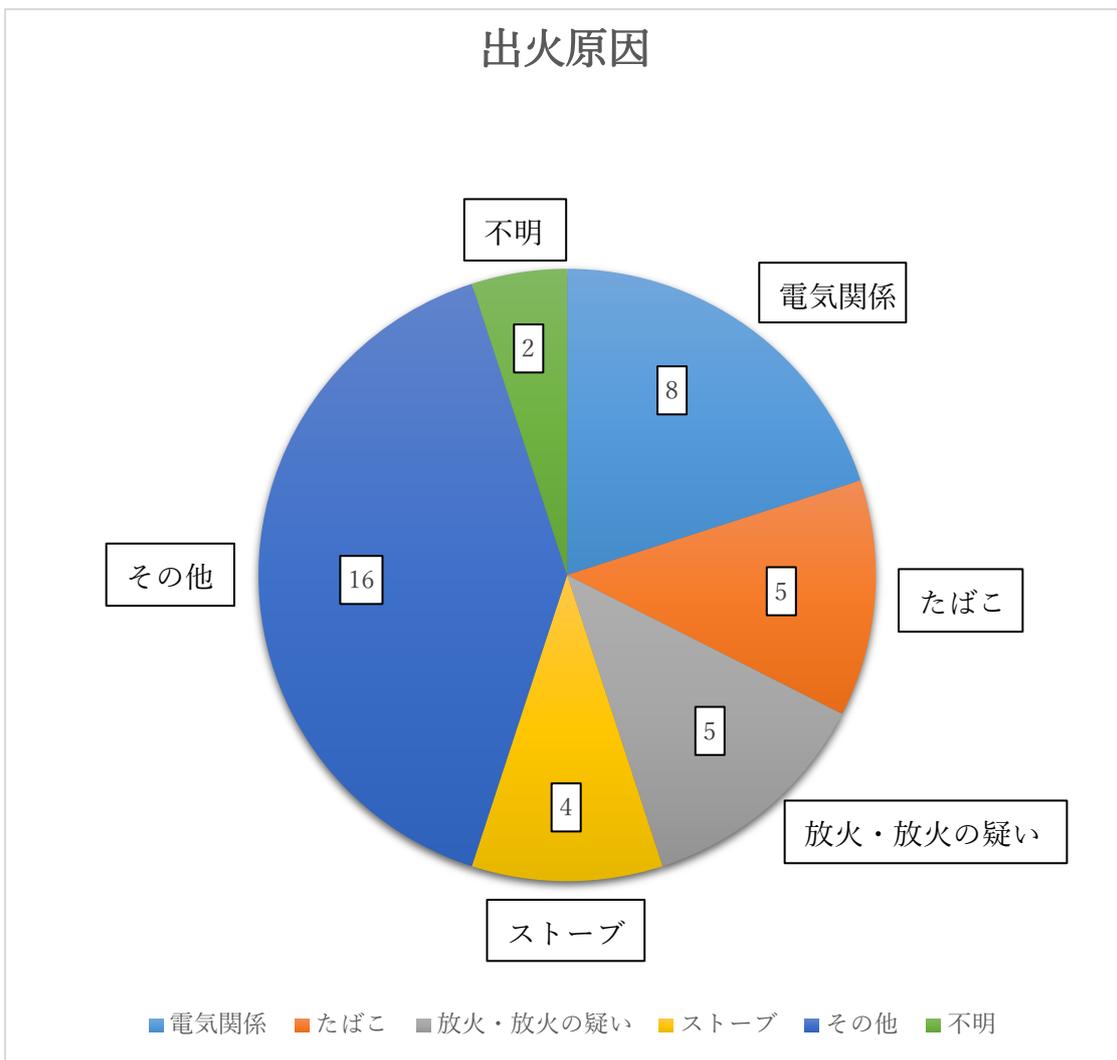
0～ 2時台	4件	(建物4件／林野0件／車両0件／その他0件)
3～ 5時台	4件	(建物3件／林野0件／車両0件／その他1件)
6～ 8時台	8件	(建物7件／林野0件／車両1件／その他0件)
9～11時台	2件	(建物0件／林野0件 車両1件 その他1件)
12～14時台	3件	(建物2件 林野0件 車両0件 その他1件)
15～17時台	6件	(建物2件 林野0件 車両1件 その他3件)
18～20時台	8件	(建物7件 林野0件 車両1件 その他0件)
21～23時台	4件	(建物3件 林野1件 車両0件 その他0件)
不明	1件	(建物1件 林野0件 車両0件 その他0件)



- 建物火災については、6～8時台、18時から20時台に多く発生した。起床や始業時、帰宅や終業時に多く発生している傾向がみられた。また、8時から18時までの間はあまり火災が発生していなかった（4件）
- 車両、その他の火災については、6～20時台に発生しており、建物火災とは逆の傾向があった。

#### (4) 出火原因

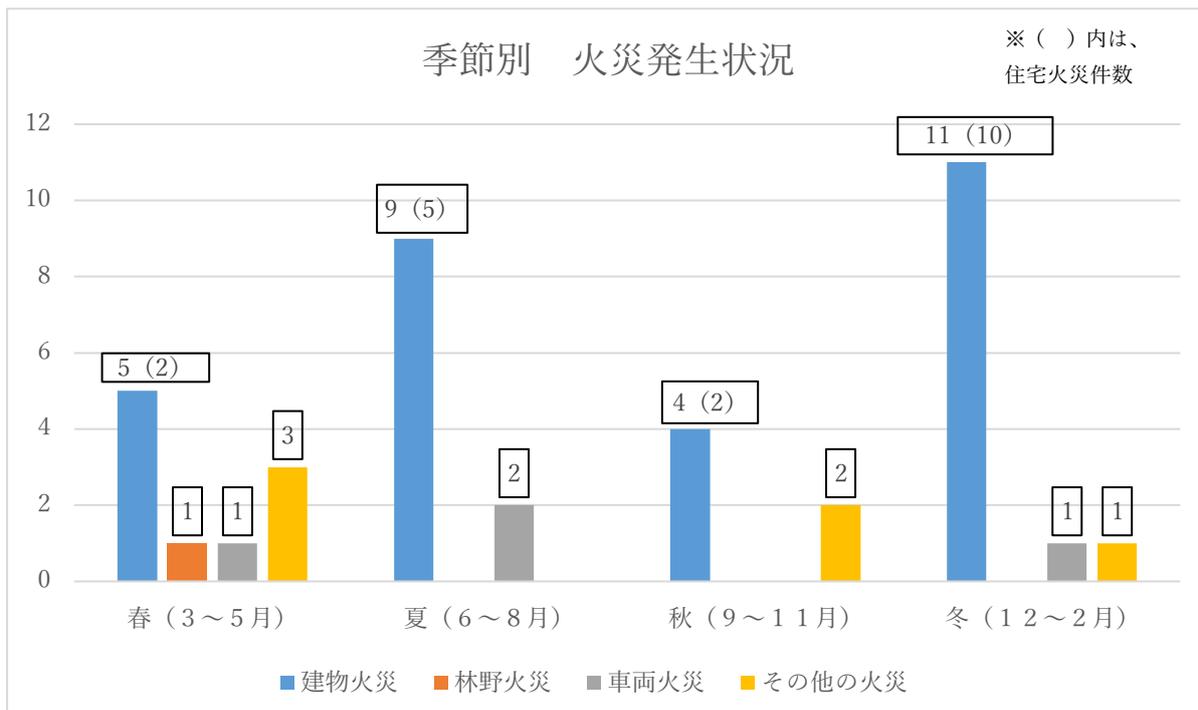
電気関係	8件（20.0パーセント）	死者1名	負傷者0名
たばこ	5件（12.5パーセント）	死者1名	負傷者3名
放火・放火の疑い	5件（12.5パーセント）	死者1名	負傷者2名
ストーブ	4件（10.0パーセント）	死者0名	負傷者3名
その他	16件（40.0パーセント）	死者1名	負傷者6名
不明	2件（5.0パーセント）	死者0名	負傷者0名



- 出火原因については、「電気関係」に起因するものが多く、電気製品の増加等が背景にあると考えられる。

### (5) 季節別

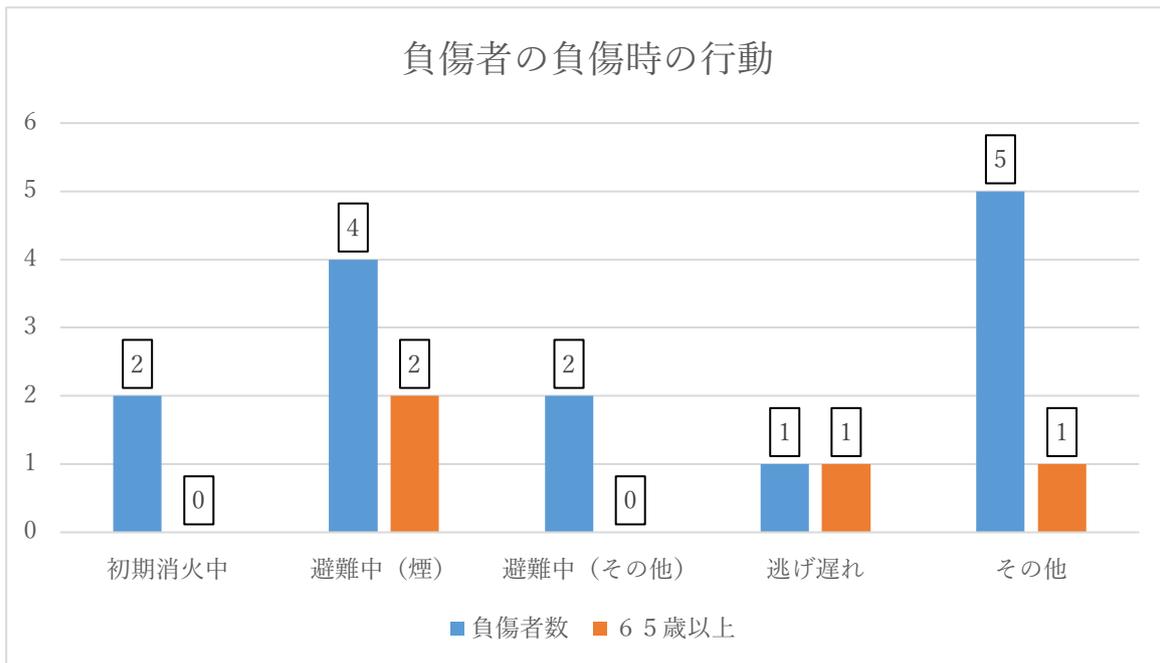
春（ 3 ～ 5月）	10件（25.0パーセント）
夏（ 6 ～ 8月）	11件（27.5パーセント）
秋（ 9 ～11月）	6件（15.0パーセント）
冬（12 ～ 2月）	13件（32.5パーセント）



- 建物火災については、住宅火災は冬に多く発生しているのに対し、住宅以外の建物火災は春から秋にかけて発生していた。
- 車両、その他の火災の発生時季に特徴は無かった。
- 冬の広報宣伝は住宅地を中心に実施し、その他の季節は住宅地以外の地域を中心に実施すると効果が表れる可能性がある。

(6) 負傷者（14名）の負傷時の行動

初期消火中	2名（14.3パーセント）
避難中（煙）	4名（28.6パーセント）
避難中（その他）	2名（14.3パーセント）
逃げ遅れ	1名（7.1パーセント）
その他	5名（35.7パーセント）



※ 自損2名、家事従事中1名、業務・作業中2名

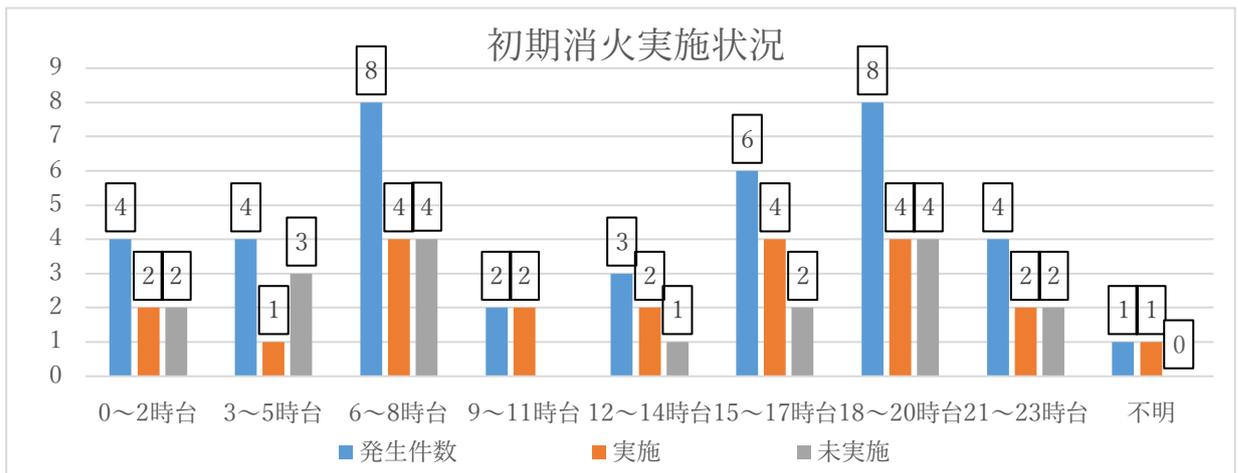
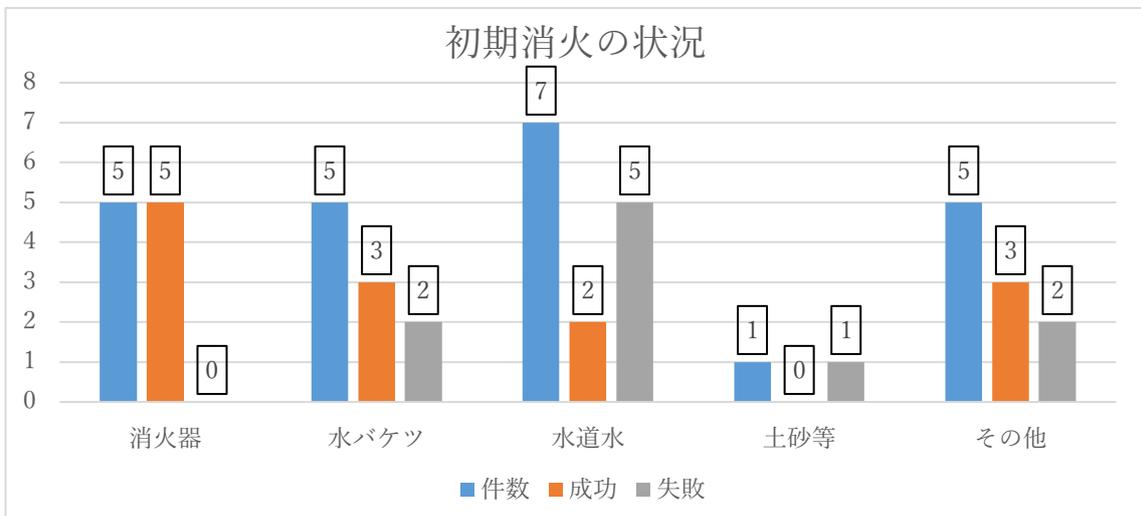
- ・ 避難中、逃げ遅れによる受傷が7名については、早期発見による早急な避難により、発生を防ぐことが出来た可能性がある。

## (7) 初期消火の状況

火災40件のうち、21件（52.5パーセント）で初期消火を実施

初期消火を実施し22件のうち、12件（57.1パーセント）で初期消火成功

消火器	5件（成功	5件）（23.8パーセント／成功	100.0パーセント）
水バケツ	5件（成功	3件）（23.8パーセント／成功	60.0パーセント）
水道水	7件（成功	2件）（28.6パーセント／成功	33.3パーセント）
土砂等	1件（成功	0件）（4.8パーセント／成功	0.0パーセント）
その他	4件（成功	2件）（19.0パーセント／成功	50.0パーセント）



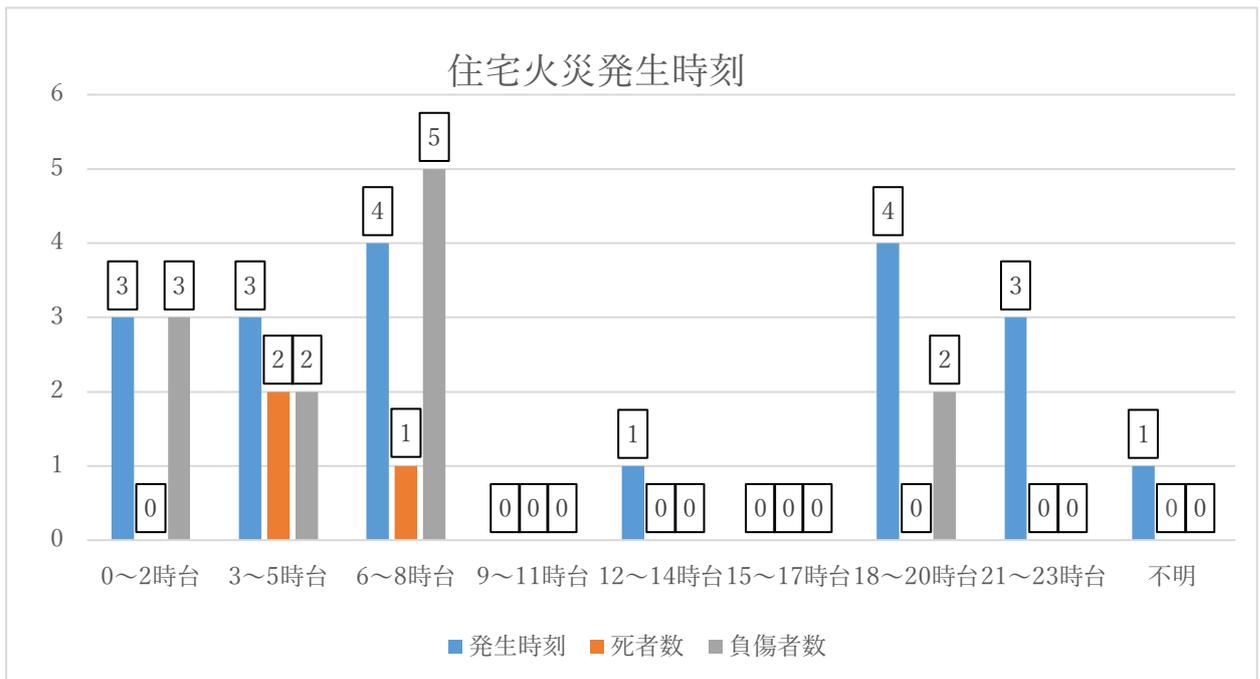
- ・ 初期消火において、消火器は有効であることが分かった。
- ・ 消火器を使用した初期消火件数が少ないため、消火器の普及啓発が必要である。
- ・ 初期消火の実施状況に大きな特徴は無かった。

## 【住宅火災概要】

(1) 発生件数 19件 / 死者3名 / 負傷者12名

### (2) 発生時刻

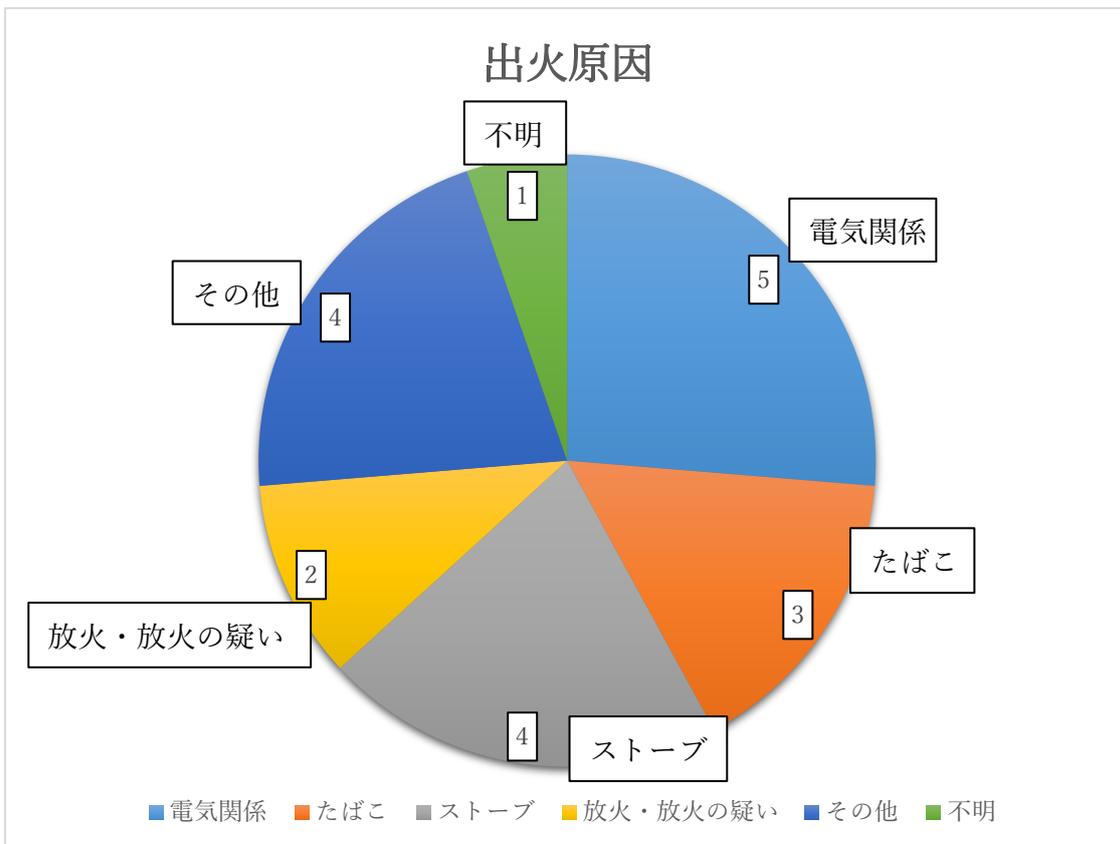
0～2時台	3件 (15.8パーセント)	死者	0名	負傷者	3名
3～5時台	3件 (15.8パーセント)	死者	2名	負傷者	2名
6～8時台	4件 (21.1パーセント)	死者	1名	負傷者	5名
9～11時台	0件 (0パーセント)	死者	0名	負傷者	0名
12～14時台	1件 (5.2パーセント)	死者	0名	負傷者	0名
15～17時台	0件 (0パーセント)	死者	0名	負傷者	0名
18～20時台	4件 (21.1パーセント)	死者	0名	負傷者	2名
21～23時台	3件 (15.8パーセント)	死者	0名	負傷者	0名
不明	1件 (5.2パーセント)	死者	0名	負傷者	0名



- ・ 住宅火災は9時台から17時台においては、ほとんど発生していないことが分かった。
- ・ 住宅火災における死者及び負傷者の発生は0時台から8時台の就寝時間に多い結果となった。

### (3) 出火原因

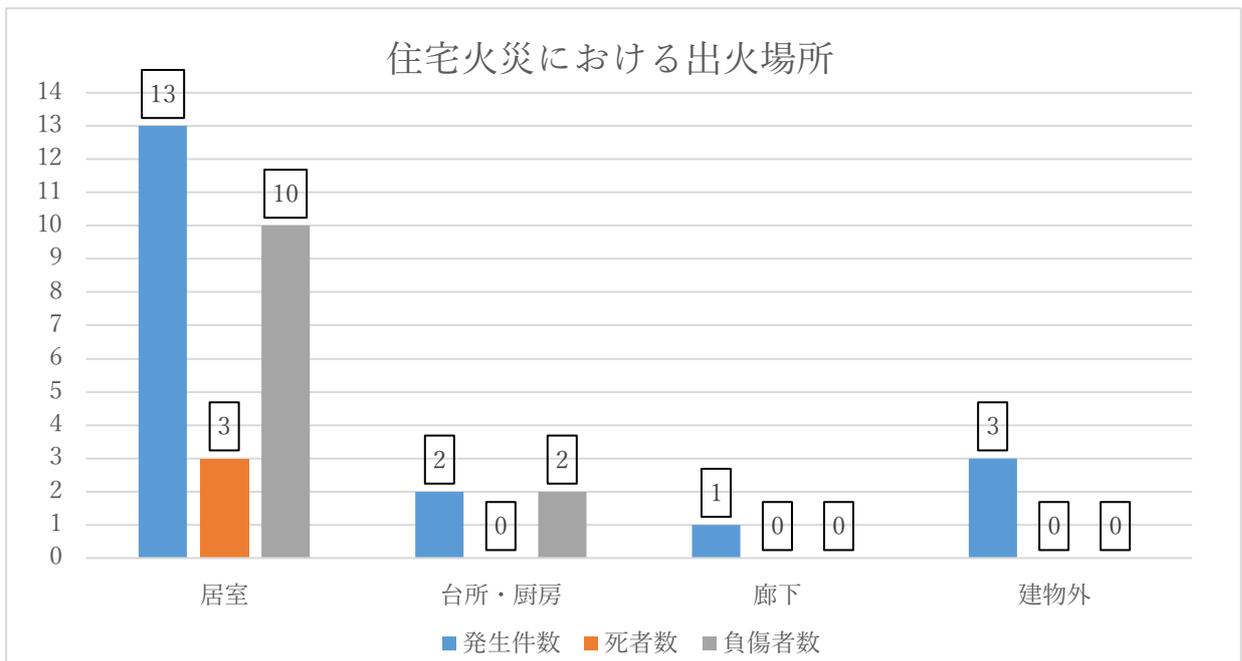
電気関係	5件（26.3パーセント）	死者1名	負傷者0名
たばこ	3件（15.8パーセント）	死者1名	負傷者3名
ストーブ	4件（21.1パーセント）	死者0名	負傷者3名
放火・放火の疑い	2件（10.5パーセント）	死者1名	負傷者2名
その他	4件（21.1パーセント）	死者0名	負傷者4名
不明	1件（5.2パーセント）	死者0名	負傷者0名



- ・ 住宅火災における出火原因の内、最も多かったのは電気関係であった。
- ・ 電気関係、たばこ、放火の疑いの火災において、死者が発生した。
- ・ 負傷者は、たばこ及びストーブ火災で多く発生した。

#### (4) 出火場所

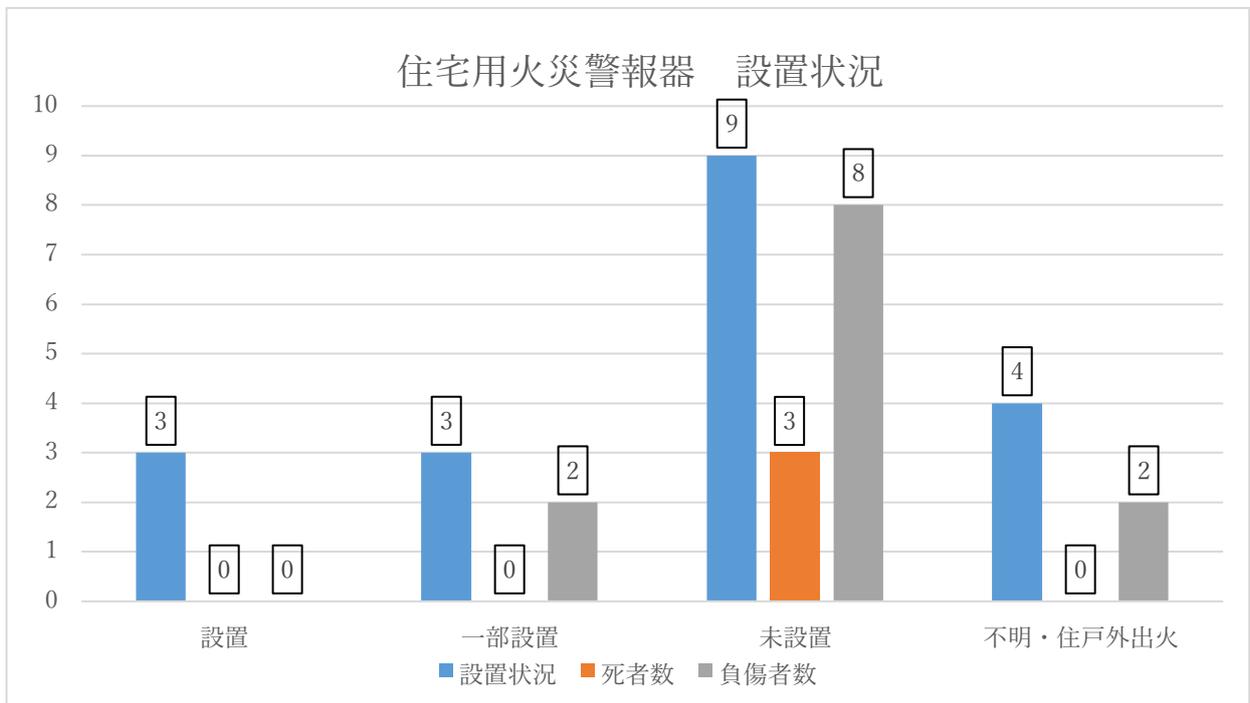
居室	13件（68.4パーセント）	死者3名	負傷者10名
	※ 死者発生率 23.1パーセント		
	※ 負傷者発生率76.9パーセント		
台所・厨房	2件（10.5パーセント）	死者0名	負傷者 2名
	※ 負傷者発生率100パーセント		
廊下	1件（ 5.3パーセント）	死者0名	負傷者 0名
建物外	3件（15.8パーセント）	死者0名	負傷者 0名



- 住宅火災における出火箇所の半数以上が居室からの出火となった。
- 台所で発生した火災については、負傷者が発生しやすい傾向がみられた。

**(5) 住宅用火災警報器 設置状況**

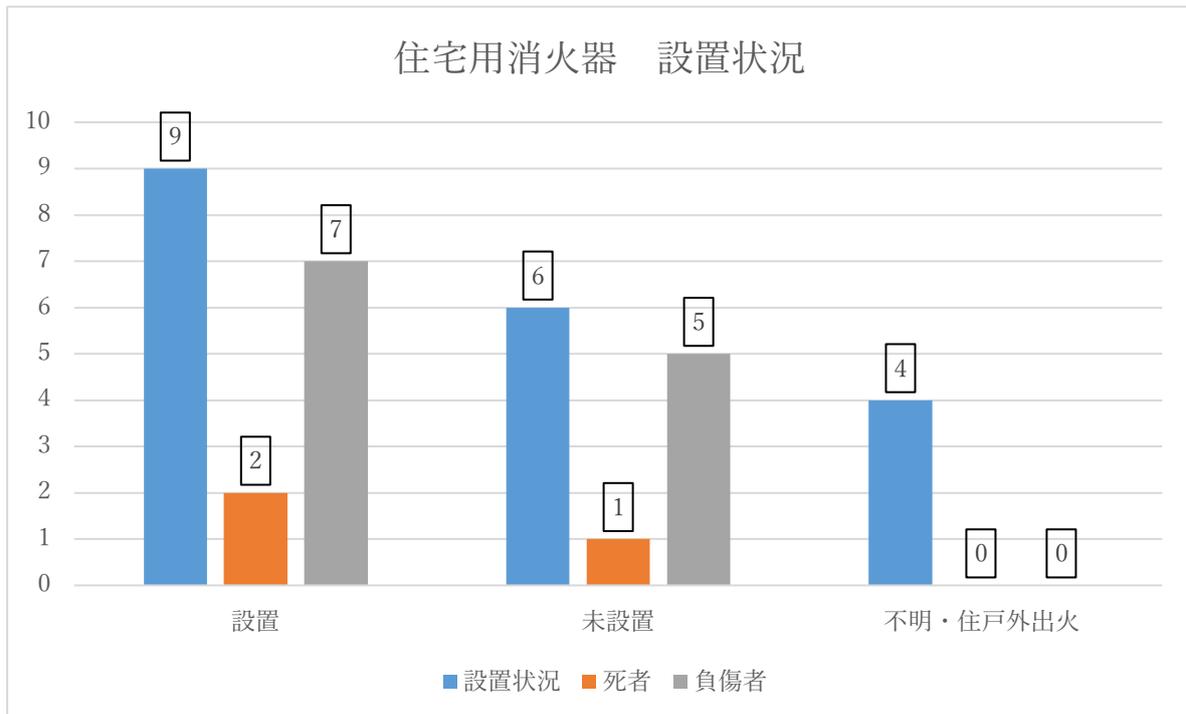
適正設置	3件（15.8パーセント）	死者	0名	負傷者	0名
一部設置	3件（15.8パーセント）	死者	0名	負傷者	2名
		※ 負傷者発生率	66.7パーセント		
未設置	9件（47.4パーセント）	死者	3名	負傷者	8名
		※ 死者発生率	33.3パーセント		
		※ 負傷者発生率	88.9パーセント		
不明・住戸外出火	4件（21.0パーセント）	死者	0名	負傷者	2名
		※ 負傷者発生率	50.0パーセント		



- 住宅火災における死者3名は、全て住宅用火災警報器が未設置の住宅で発生していた。
- 負傷者の発生率は住宅用火災警報器未設置住宅が圧倒的に高かった。
- 住宅用火災警報器が塩釜地区消防事務組合火災予防条例通りに設置されている住宅火災において、死者及び負傷者は発生しなかった。

**(6) 住宅用消火器 設置状況**

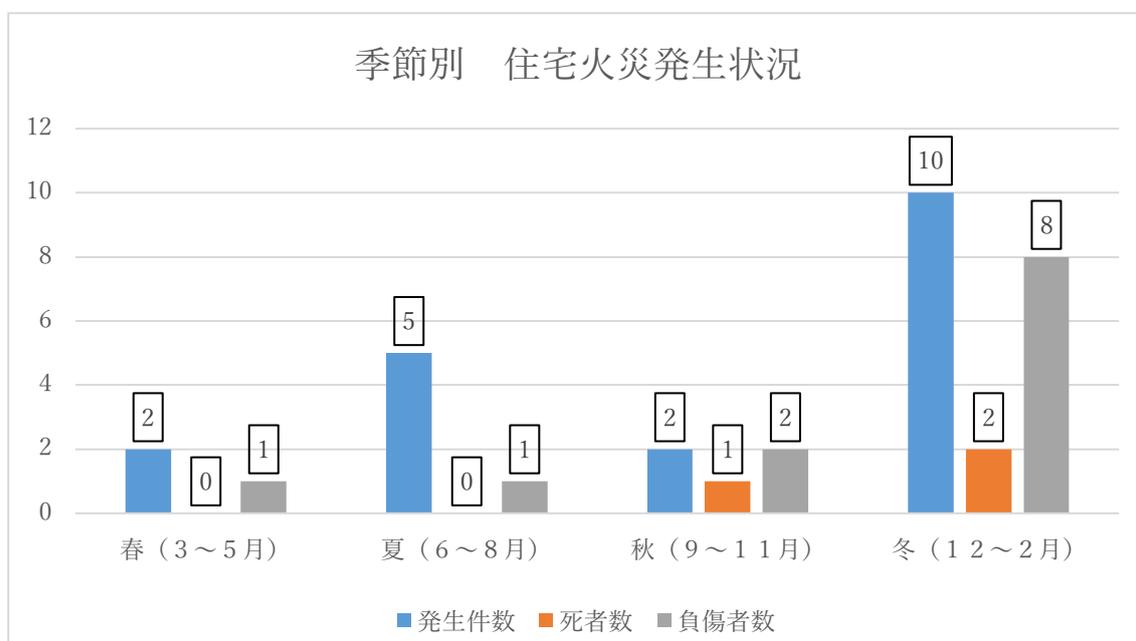
設置	9件（47.4パーセント）	死者2名	負傷者7名
	※ 9件全て初期消火にて消火器は未使用		
未設置	6件（31.6パーセント）	死者1名	負傷者5名
不明・住戸外出火	4件（21.0パーセント）	死者0名	負傷者0名



- 約半数の住宅において消火器の設置が確認できたが、死者及び負傷者の発生を抑制することはできなかった。背景としては、消火器の設置に留まり、初期消火へ使用できていないことが考えられる。
- 消火器未設置住宅においても、高い水準で死傷者が発生していることから、住宅用消火器の普及並びに適正使用について指導していくことが課題である。

## (7) 季節別

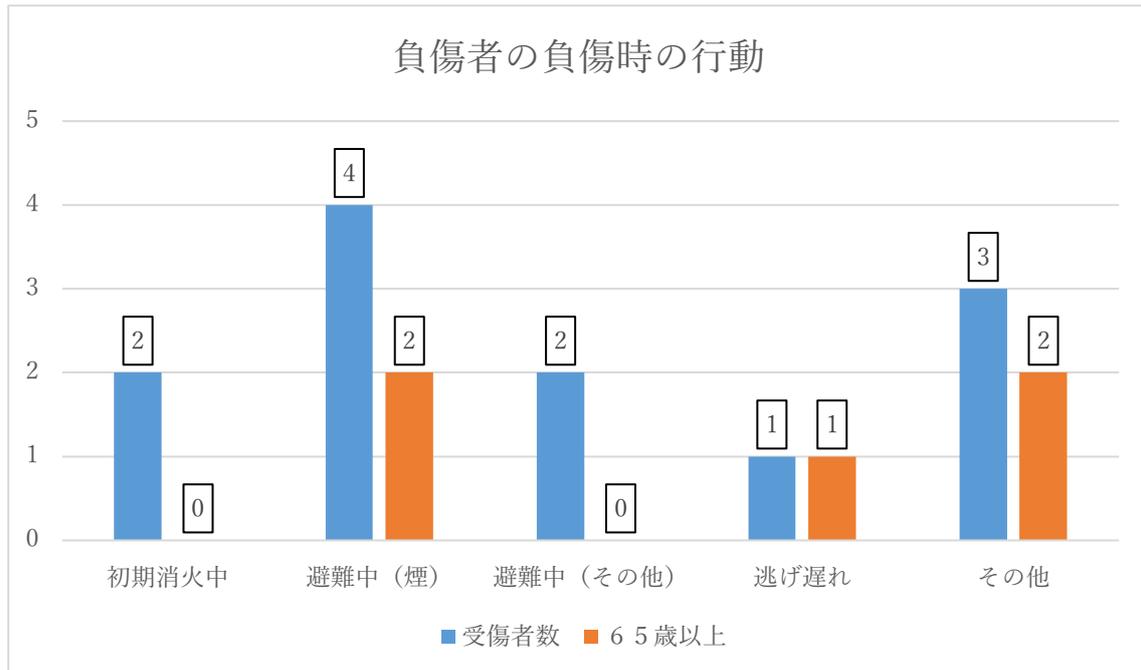
春（3～5月）	2件（10.5パーセント）	死者0名	負傷者1名
	※ 負傷者発生率	50.0パーセント	
夏（6～8月）	5件（26.4パーセント）	死者0名	負傷者1名
	※ 負傷者発生率	20.0パーセント	
秋（9～11月）	2件（10.5パーセント）	死者1名	負傷者2名
	※ 死者発生率	50.0パーセント	
	※ 負傷者発生率	100.0パーセント	
冬（12～2月）	10件（52.6パーセント）	死者2名	負傷者8名
	※ 死者発生率	20.0パーセント	
	※ 負傷者発生率	80.0パーセント	



- ・ 秋に発生した火災において、死者及び負傷者の発生率が非常に高かった。
- ・ 冬に発生した火災について、件数、死者数、負傷者数の全てが、年間の半数以上を占める結果となった。

### (8) 負傷者（12名）の負傷時の行動

初期消火中	2名（16.7パーセント）
避難中（煙）	4名（33.3パーセント）
避難中（その他）	2名（16.7パーセント）※飛び降り2名
逃げ遅れ	1名（8.3パーセント）
その他	3名（25.0パーセント）※自損2件及び家事従事中1件



- ・ 住宅火災で発生した負傷者12名のうち、65歳以上は5名（41.7パーセント）だった。
- ・ 初期消火中の負傷者も発生しているため、適切な初期消火の実施について、注意喚起が必要である。
- ・ 負傷者12名のうち、7名（58.3パーセント）が避難中及び逃げ遅れによる負傷であった。

## (9) 初期消火の状況

住宅火災19件のうち、9件で初期消火を実施（47.4パーセント）

初期消火を実施した9件のうち、1件で初期消火成功（11.1パーセント）

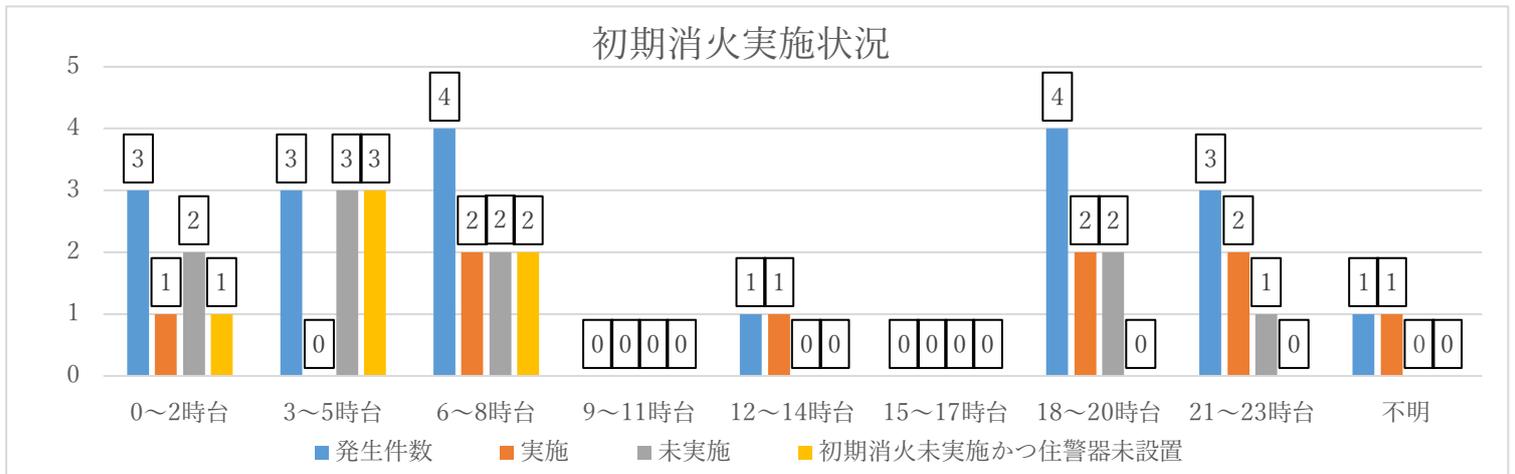
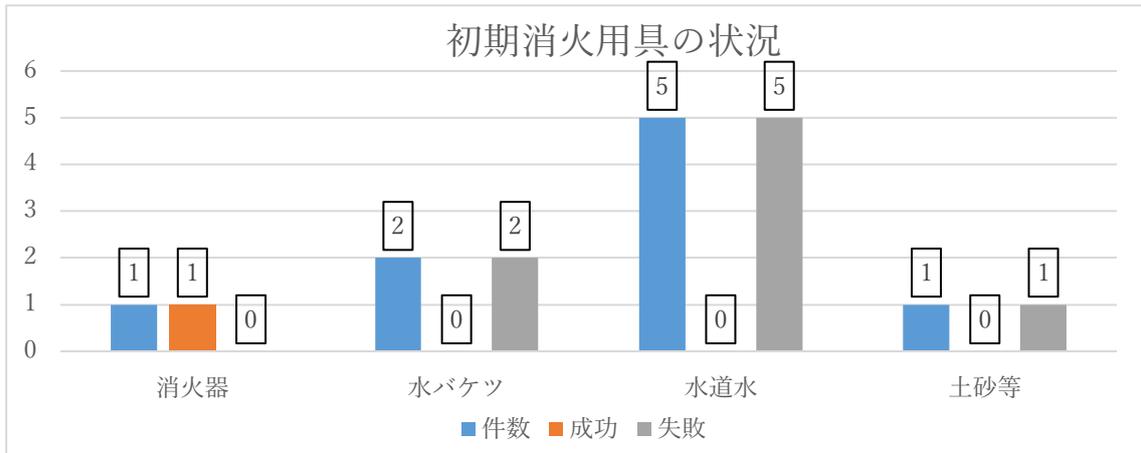
消火器 1件（成功 1件）（11.1パーセント／成功100パーセント）

※ 住戸外出火によるもの

水バケツ 2件（成功 0件）（22.2パーセント／成功 0パーセント）

水道水 5件（成功 0件）（55.5パーセント／成功 0パーセント）

土砂等 1件（成功 0件）（22.2パーセント／成功 0パーセント）

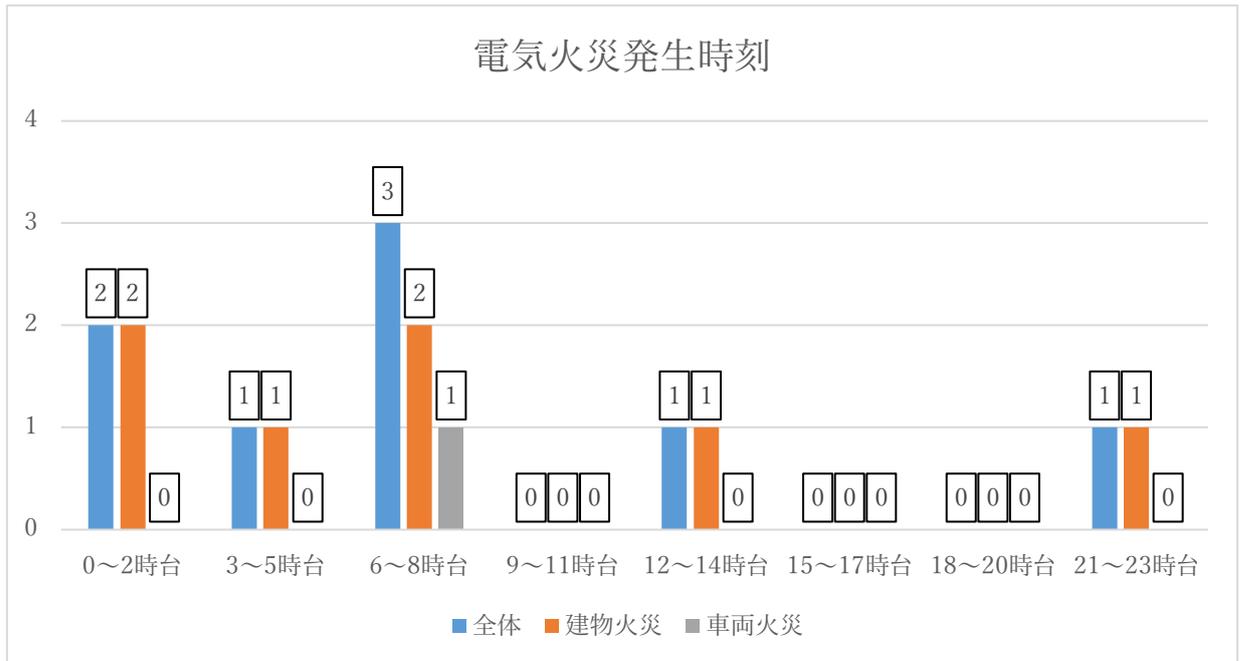


- ・ 消火器については、初期消火の成功率が高く（100パーセント）、有効であることが確認された。
- ・ 水バケツや水道水、土砂等を使用した初期消火に効果は確認されなかった。
- ・ (6)に記載のとおり住宅用消火器の普及並びに適正使用について指導していくことが課題である。
- ・ 初期消火の実施時刻については、0時から5時台の実施率が低いことが分かった。
- ・ 0から5時台においては、初期消火の実施率が低く、その要因としては、住宅用火災警報器未設置による早期発見の遅れが考えられる。

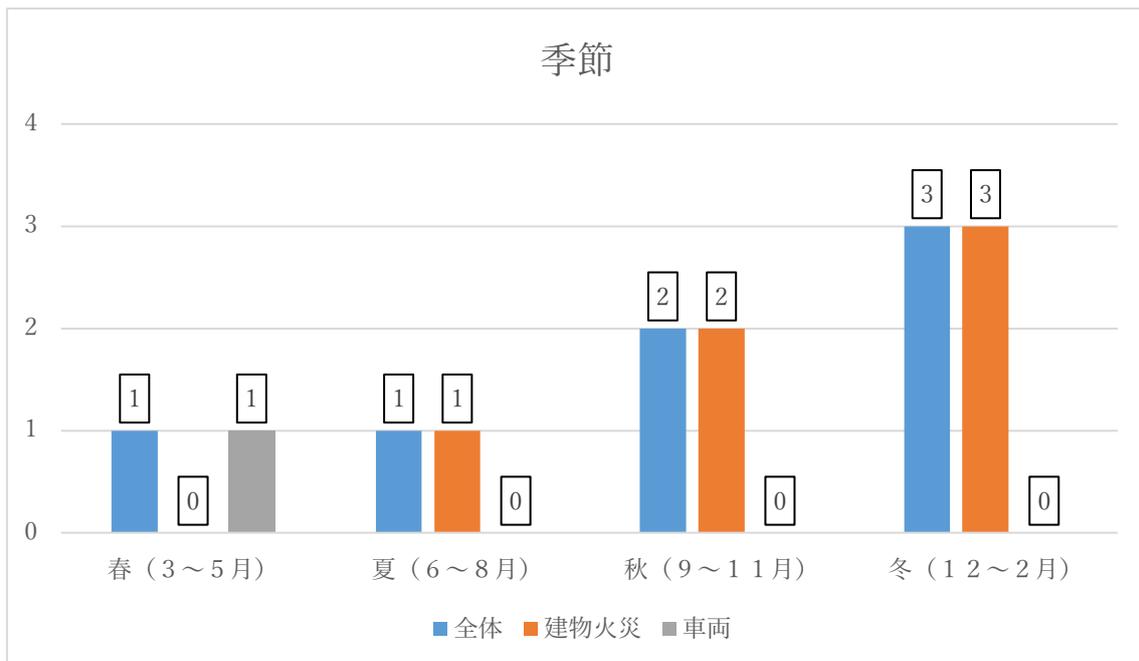
## 【電気火災概要】

(1) 発生件数 8件 (死者1名 / 負傷者0名)

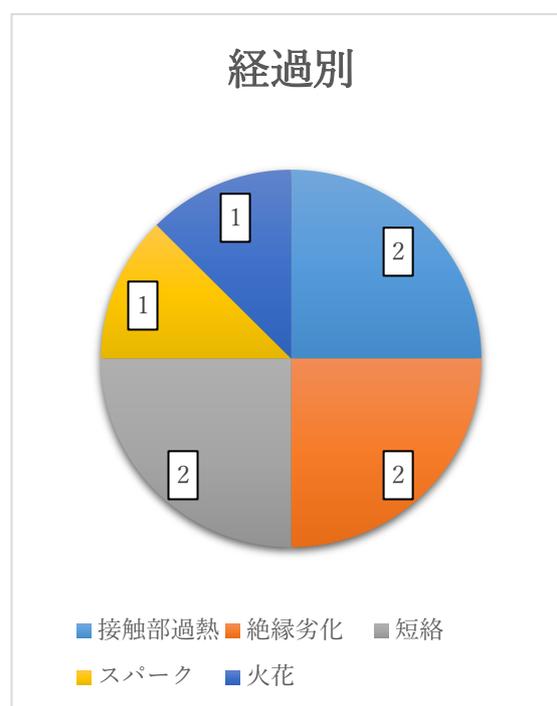
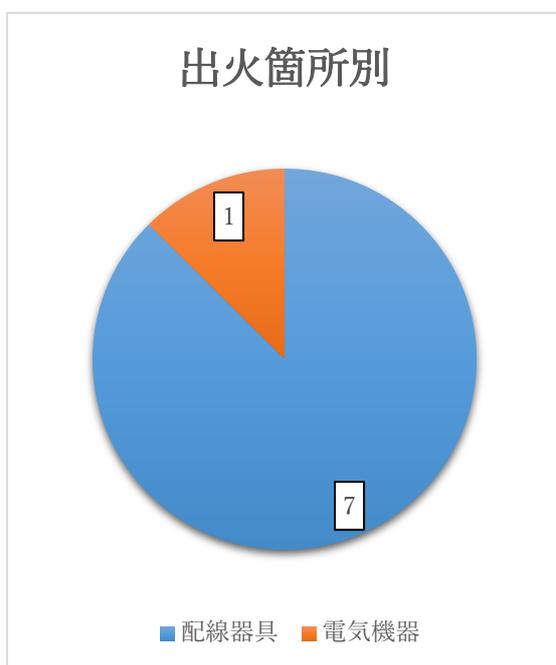
(2) 出火時刻



(3) 季節



#### (4) 出火箇所等

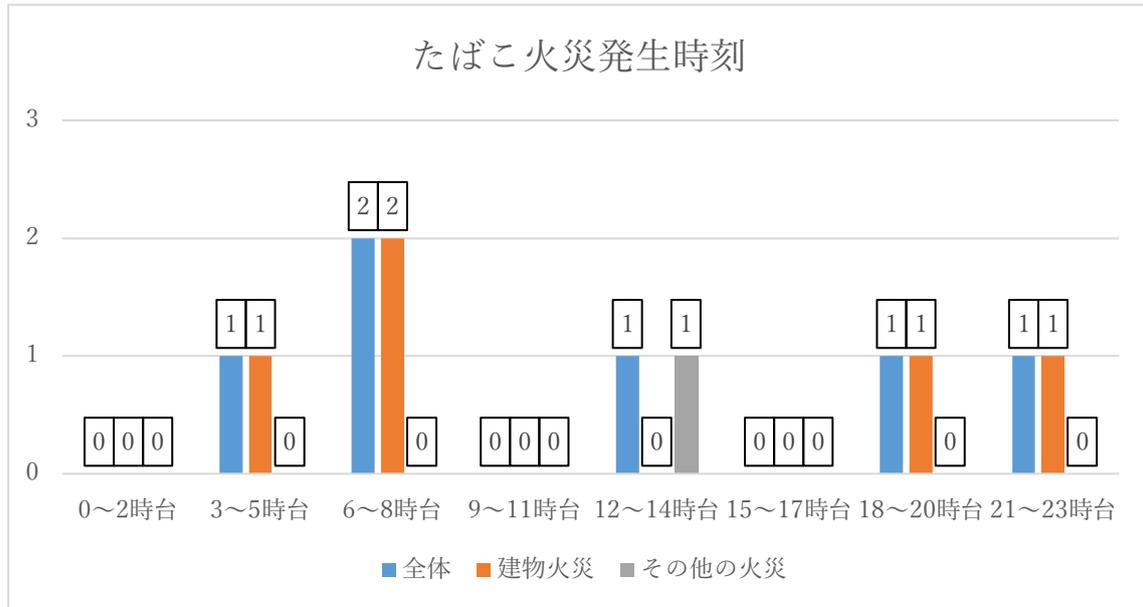


- ・ 電気火災発生時刻については、大半が21時台から8時台に発生していた。
- ・ 季節別については、冬に多く発生しており（37.5パーセント）、電気の使用時間等に比例する可能性が確認された。
- ・ 出火箇所については、配線器具からの出火が7件（87.5パーセント）であり、電気機器からの出火は1件（12.5パーセント）であった。
- ・ 電気火災発生の経過について、特徴は見られなかった。

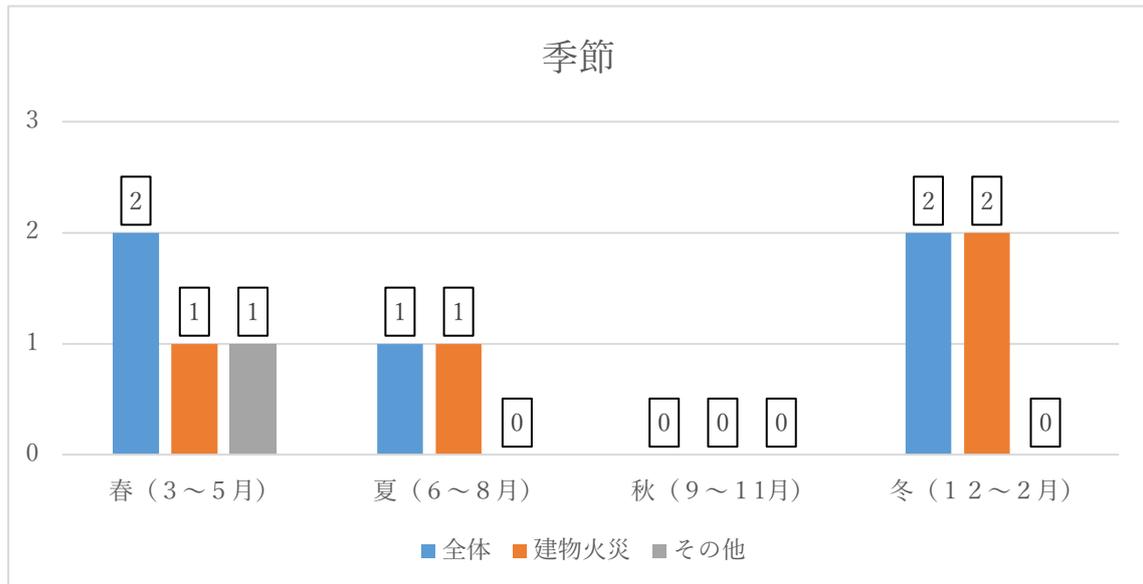
## 【たばこ火災概要】

(1) 発生件数 5件（死者1名 / 負傷者3名 ※ 全て建物火災にて発生）

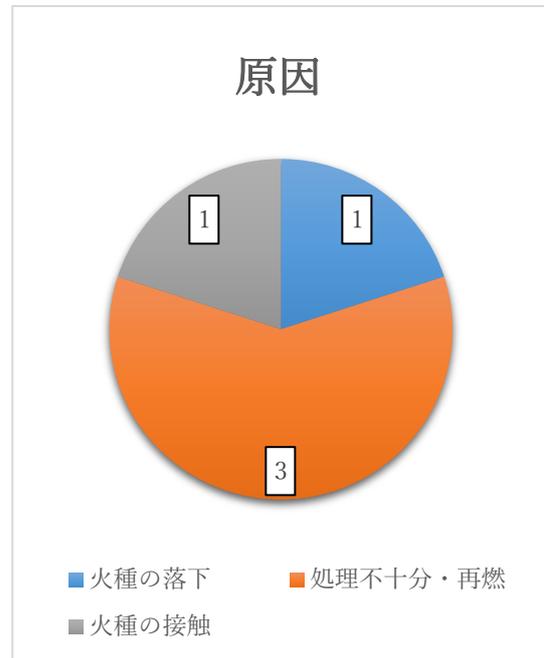
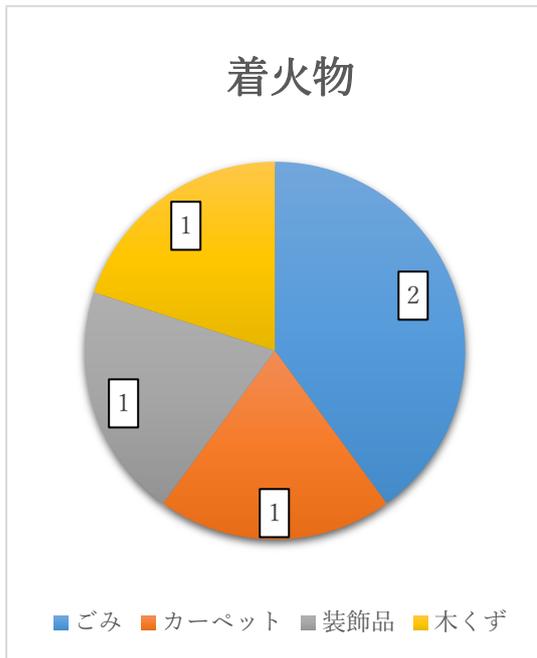
### (2) 出火時刻



### 3 季節別



#### 4 着火物等

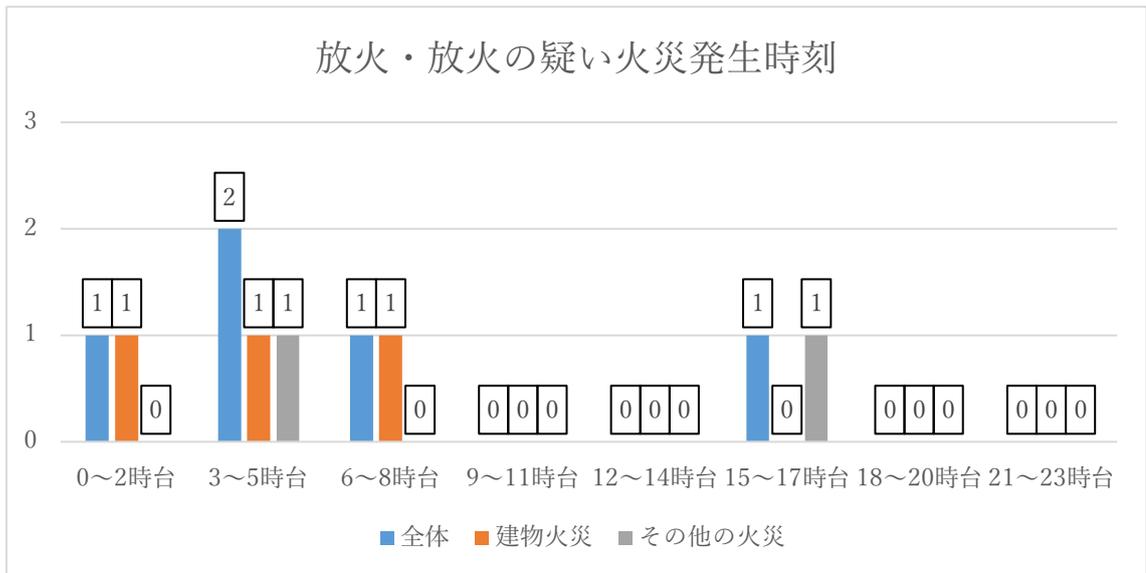


- ・ たばこを原因とする建物火災は、18時台から8時台において発生している。
- ・ 原因については、処理不十分によるものが3件（60.0パーセント）であり、消火行為の怠慢によるものといえる。
- ・ たばこを原因とする建物火災4件のうち、3件（75.0パーセント）の火災で負傷者が発生し、うち1件で死者が発生した。負傷者3名のうち、2名は避難中の煙の吸い込み等によるものであり、1名は初期消火中であつた。

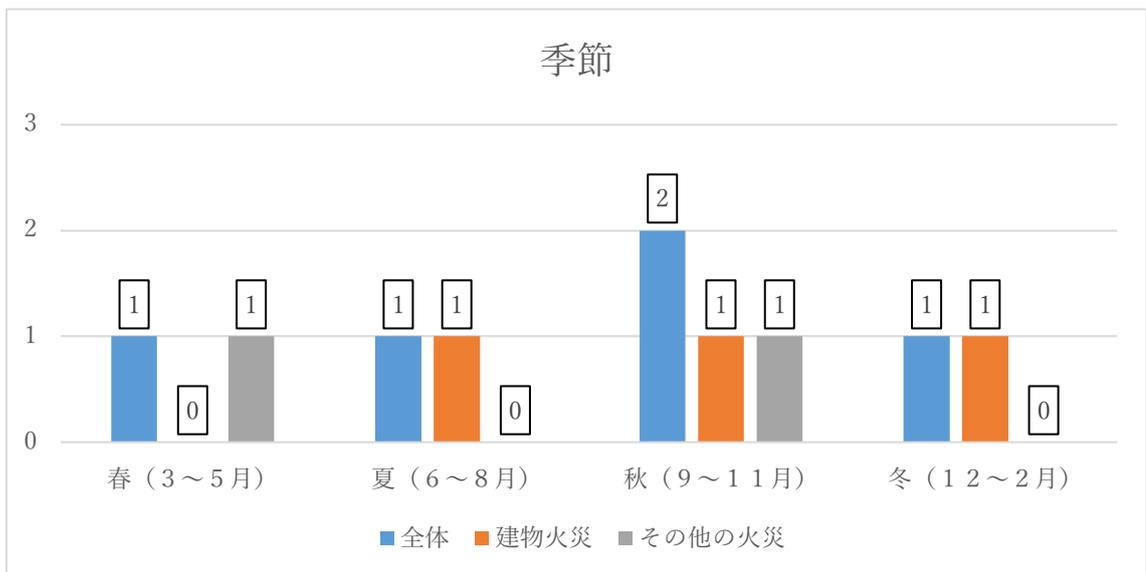
## 【放火・放火の疑い 概要】

(1) 出火件数 5件 (死者1名 / 負傷者 2名 ※1名は自損行為)

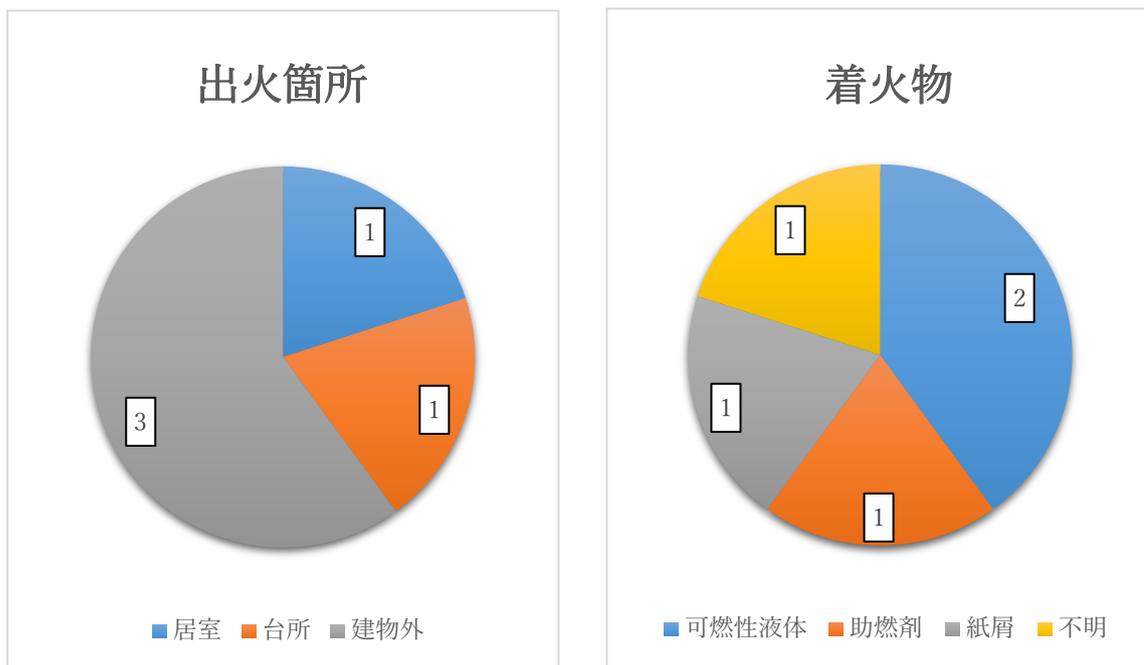
(2) 出火時刻



(3) 季節別



#### (4) 原因別



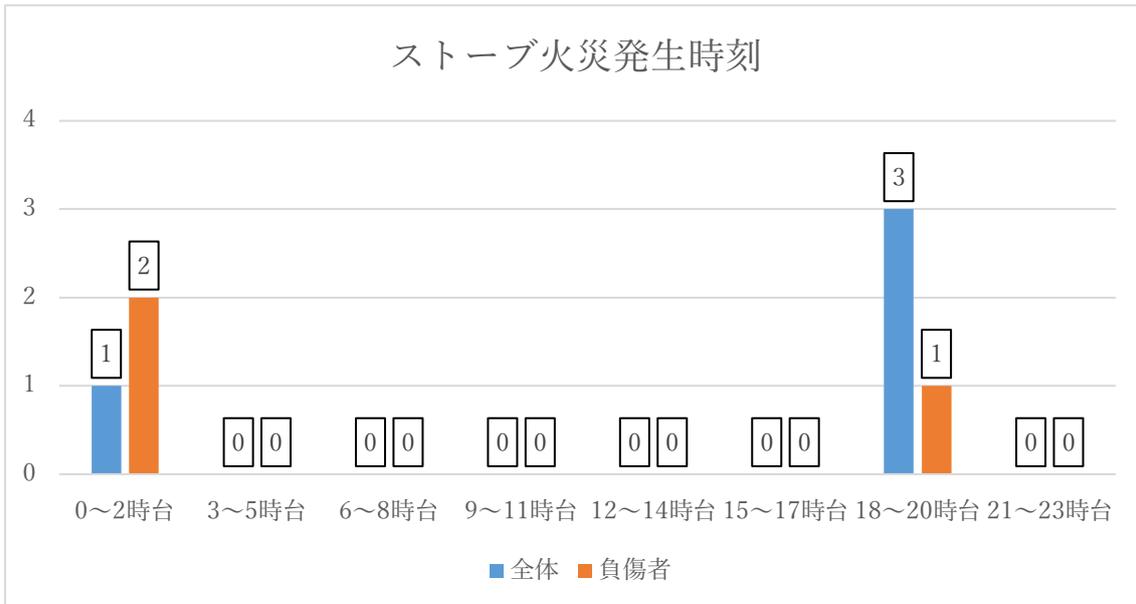
※ 出火箇所における「台所」については、自損行為によるもの。

- ・ 出火時刻については、0時から8時台に発生している件数が4件（80.0パーセント）であり、人が行動する時間の前に多く発生していた。
- ・ 季節については、概ね各季節一様に発生していた。

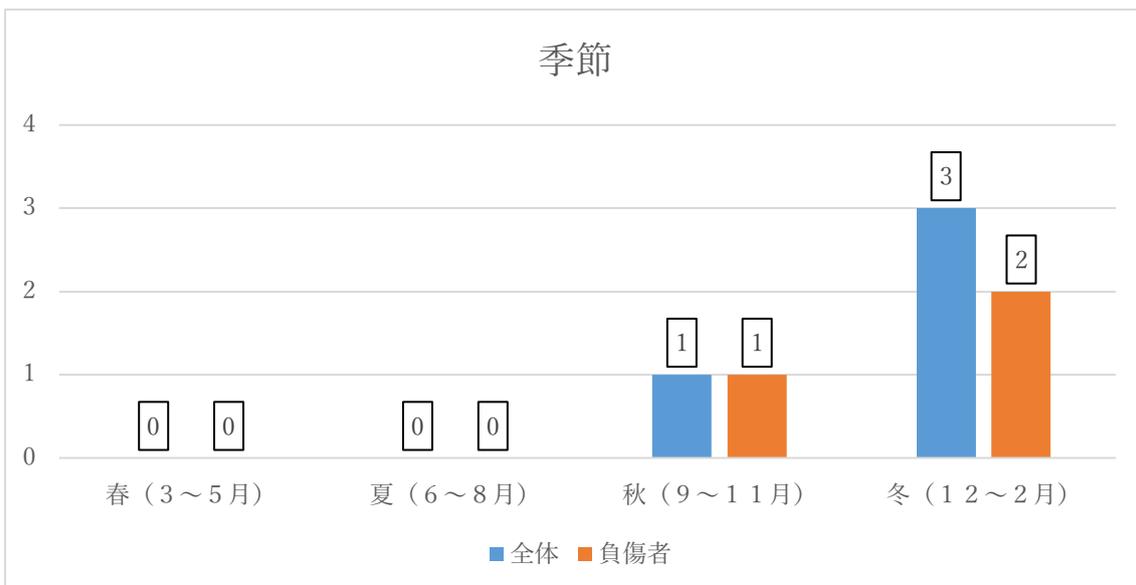
## 【ストーブ火災 概要】

1 発生件数 4件（死者0名 / 負傷者3名）

2 出火時刻

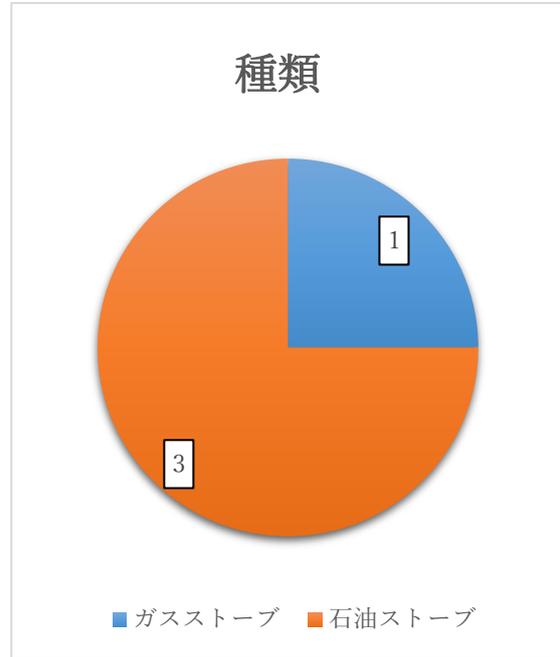
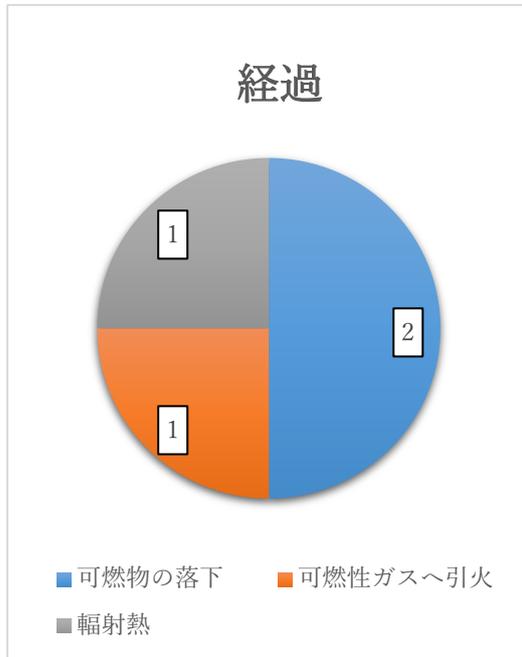


3 季節別



※ 秋に発生した1件については11月下旬に発生したものの。

#### 4 経過等



- ・ 発生季節については、11月下旬から2月までの寒い季節（ストーブを使用する季節）に発生していた。
- ・ 火災が発生したストーブの種類については、石油ストーブが3件（75.0パーセント）、ガスストーブが1件（25.0パーセント）となった。